

ヒヤリハット報告書(学生用)

三重大学

所属学部等	人・教・医・ 工 ・生・イバ 学部・大学院 <small>該当する箇所に○をつけてください。</small>	第 3 学年	性別: 男 ・ 女
	※氏名: ○○○○ ※連絡先: ○○○○ (※任意記入)		
いつ	令和 □□ 年 ◇◇ 月 ◇◇ 日 (○ 曜日) 10 時 30 分頃		
どこで場所等	実験室から廊下に出るところで	どうしていた時	ドアを勢いよく開けた時
ヒヤリ・ハットした時の状況 <small>※何があったのか?</small>	実験器具の入った段ボールを運び出す時に、一人だったので最初にドアにスリッパを挟んで閉まらないようにしておいて、荷物を持ったまま足でドアを勢いよく押した際に、廊下を歩いていた先輩に危うくドアがぶつかりそうになった。		

◆問題があったと思われる点に○を付して、その問題とされる内容を記入してください。

問題があったと思われる点	1. 環境 2. 方法 3. 設備・機器等 <small>※○を付して下さい</small>
問題の内容	一人で作業を終えようと思い、安全を確認せずにドアを開けてしまった。

◆あなた自身の問題点(不安全な行動等)があれば記入してください。

あなた自身の問題点があれば記入してください (不安全な行動等)	廊下の状況確認を行わず、足で開けてしまったこと。
------------------------------------	--------------------------

該当する項目があれば○をつけてください。

1	よく見え(聞こえ)なかった	7	あわてていた	13	考え事をしていた
2	気がつかなかった	8	不愉快なことがあった	14	体調が悪かった
3	忘れていた	9	疲れていた	15	過信していた
4	知らなかった	10	無意識に手が動いた	16	初めての作業だった
5	○ 深く考えなかった	11	やりにくかった	17	甘く見ていた
6	大丈夫だと思った	12	身体のバランスを崩した	18	その他
				19	()

◆報告いただいたヒヤリハットについて、今後はどうすればリスクが回避できるかあなたのお考えをご記入ください。

-実験器具を大事に扱うために、今後は安全に気をつけて台車を使って運搬したいと思います。

<リスク自己評価>

◆あなたのヒヤリハットをリスク算出式にあてはめてリスクレベルを算出願います。

(1)ケガをする可能性は? ◇可能性大 5点 ◇可能性有り 3点 ◇ほとんどなし 1点	(2)危険の頻度は? ◇頻繁 5点 ◇時々 3点 ◇ほとんどなし 1点	(3)ケガの程度は? ◇重大災害 5点 ◇重症・軽症 3点 ◇軽微 1点	(4)合計点とリスクレベル ◇50点 :レベル4 ◇24~49点:レベル3 ◇18~23点:レベル2 ◇17点以下:レベル1
--	--	---	--

※リスク算出式: ((1)ケガをする可能性 + (2)危険の頻度) × (3)ケガの程度) = 合計点
 (+) × = 点

・(1)~(3)の評価点数の記載にあたっては、次ページの「別紙 リスク評価基準」を参照願います。

◆**リスクレベルが3以上**もしくは差し支えない場合は、重大事故等の未然防止のため、**所属学部欄等にあなたの連絡先**をご記入いただきますようお願いいたします。

リスクレベル

- ♡ ヒヤリハット報告は、あなたの安全を守ることにつながります。
- ♡ あなたの貴重な体験を大学のみんなの災害防止に活かしましょう。

リスク評価基準

○ケガをする可能性は？

可能性	リスク評価内容	点数
可能性大	特に注意していないとケガ(災害)をする可能性が大きいと思われる場合	5点
可能性有り	注意力が散漫になっているとケガ(災害)をする可能性があると思われる場合	3点
ほとんどなし	ケガ(災害)をする可能性がほとんど無いと思われる場合	1点

○危険の頻度は？

頻度	リスク評価内容	点数
頻繁	危険に合う機会(作業頻度等)が頻繁にあると思われる場合	5点
時々	危険に合う機会(作業頻度等)が時々あると思われる場合	3点
ほとんど無し	危険に合う機会(作業頻度等)はほとんど無いと思われる場合	1点

○ケガの程度は？

程度	リスク評価内容	点数
重大災害、疾病 (要休業等)	死亡、労働不能、後遺障害(12級以上)が発生する災害や、複数名が被災・休業・長期入院するケガ等(災害)の場合	5点
重症・軽症	短期間の通院又は入院治療が必要なケガ等の場合	3点
軽微	手当の後すぐに作業復帰が可能な程度のケガ またはケガには至らなかったがヒヤリした場合	1点